

【使徒の働き 26 章】

“生ける神様との出会い”

「サウロ、サウロなぜ私を迫害するのか〜」(26:14)

神様は私たち一人一人を名指しで呼んでくださるお方です。私達がいつどこで何をして、どんな問題を持っているか、何が必要であるかをすべてご存知のお方です。

ここに出てくるパウロも、クリスチャン迫害をしていたその中で、生ける神に出会い、それまでの人生が180度変わるという体験をしました。

パウロの回心の記事は「使徒の働き」に3か所出ています。

1回目は9章で、クリスチャン殺害に燃えている時、復活の主イエス様に出会って、決定的な回心をした時、

2度目は22章で、人生が変わったことで猛烈に伝道し始めたパウロを憎む暴徒によってエルサレムで殺されかけている時、ローマ兵に兵營に連れて行かれる途中階段の上で、回心の証しをしたその時。

3度目はこの章で、パウロに対する陰謀がある為、安全の為カイザリアに連れてこられ、アグリッパ王の前で弁明した時、この証しをしています。

イエス様を信じている私たちも、いろいろな形で生ける神様に会い信じることになりました。パウロは14節で言っているように、「〜その時声があって、ヘブル語で私にこう言うのが聞こえました。『サウロ、サウロ〜』」

このように名指しで、神様は私たち一人一人に呼びかけてくださるお方です。(ルカ19:1〜ザアカイにも、見も知らないはずの彼の名を知って呼び掛けられ、彼の人生は喜びの人生へと大きく変わっていきました。)

その声を自分が聞くところに神との出会いがあります。

先日“こころゴスペル”がありました。このコンサートは神様に会える良いチャンスでした。行かれた方の証しを聞いてみましょう。

あなたは、あなたの神に会う備えをせよ。(アモス4:12)



TLCCC FRH

(天に登録されている長子たちの教会)

Church of the **Firstborn** who are **Registered in Heaven**

主任牧師：イエス・キリスト 牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【遣わされた者】

2011.8.14 No.644

今年のみ言葉 歴代士Ⅱ 20:14~22、特に15節

「あなたがたはこのおびただしい大軍のゆえに恐れてはならない。

気落ちしてはならない。この戦いはあなた方の戦いではなく、神の戦いであるから。」



皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center